2025 年度
鳥居龍蔵記念

徳島歴史文化フォーラム報告書

2026年2月14日 [土]

中学生の部 10:00 ～ 12:45
高校生の部 14:00 ～ 15:35

主催　徳島県立鳥居龍蔵記念博物館　徳島県立博物館
後援　徳島県博物館協議会

2025年度　鳥居龍藏記念　徳島歴史文化フォーラム

プログラム

日　時：2026年2月14日（土）10:00~15:35

会　場：文化の森イベントホール

■中学生の部■　10:00 ～ 12:45

研究報告１　**「徳島・松山大空襲について」**

徳島市国府中学校　　沖原 柊

研究報告２　**「高地蔵に詰まる歴史」**

徳島市国府中学校　　小岡 凌央、松本 萌愛、藤田 愛加

研究報告３　**「鮎喰川流域の銅鐸の特徴―矢野銅鐸と名東銅鐸の違いを中心に―」**

徳島市国府中学校　　楠上 陸翔、藤田 裕次郎、高原 隆希、髙木 将

■高校生の部■　14:00 ～ 15:35

研究報告１　**「鳥居龍藏の台湾調査とフィールドノート研究**
―ガラス乾板写真と顔認証技術への示唆―」

徳島県立富岡西高等学校　　溝口 木乃香、片山 果音

研究報告２　**「峰八古墳群　新資料報告とその位置付け」**

徳島県立脇町高等学校　　園田 映音

研究報告３　**「徳島市にあったドイツ兵捕虜収容所について」**

徳島県立城北高等学校　　梅田 夏姫、待田 夏帆

鳥居龍藏（とりいりゅうぞう）　（1870-1953）

1870（明治３）年に現在の徳島市東船場で生まれた考古学・人類学・民族学の研究者。20歳で上京し、東京大学人類学教室の坪井正五郎に師事した。日本国内はもとより、台湾、中国西南部、中国東北部、朝鮮半島、シベリア、サハリン、千島列島など、東アジア各地のさまざまな民族の言語、習慣、生活文化を調査し、遺跡の発掘調査を行った。その膨大な調査成果の主要なものは、『鳥居龍藏全集』全13巻にまとめられている。

中学生の部

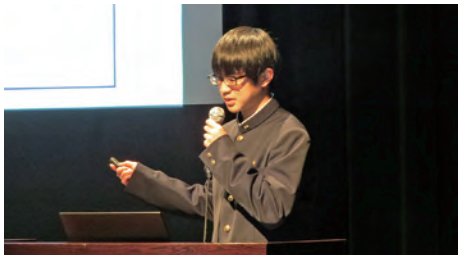
徳島・松山大空襲について

徳島市国府中学校
沖原 柊

■研究の概要

私が住んでいる徳島市と祖父が住んでいる松山市で空襲があったことを知り、調べたいと思った。そこで、周囲の人への聞き取り、新聞・インターネット・博物館での情報収集、現地調査を行い、次のことが分かった。

1945年７月４日の徳島大空襲で、徳島市はアメリカ軍による爆撃を受けた。その被害は、死者約1,000人、負傷者約2,000人、焼失家屋約17,000戸に及んだという。松山市も1945年７月26日にアメリカ軍の爆撃を受け、多くの死傷者が出たほか、多数の家屋が焼失した。松山大空襲を経験した祖父からは、家が全焼して住む場所を失ったため、生活に大変苦労したことについて、具体的な話を聞くことができた。この研究を通して、多くの人命を奪う戦争に反対する思いを強くした。今後も、戦争について学ぶ機会があれば積極的に参加し、学んだ情報を自ら発信していきたい。



■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

徳島市、松山市

■利用した博物館・資料館等

徳島県立博物館、徳島市立考古資料館

高地蔵に詰まる歴史

徳島市国府中学校
小岡 凌央、松本 萌愛、藤田 愛加

■研究の概要

国府中学校の校区内には高地蔵が多い。それらが作られた理由や時期について知りたいと思った。そこで、校区内の高地蔵を調べ、一覧表や分布地図を作成することで、次のことが分かった。

国府中学校の校区内では、17基の高地蔵が確認でき、それらが造られた時期に注目すると、1801 ～ 1820年の間が４基と最多であり、それに次いで多いのは1841 ～ 1860年であった。これらの地蔵は、洪水などの水害に関する教訓として、または水害で亡くなった人々の慰霊碑として建てられたとされ、現在においては水害に対する防災意識を高めるための存在になっていると考えられる。

■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

国府中学校の校区内にある高地蔵（徳島市）

■利用した博物館・資料館等

徳島市立考古資料館

鮎喰川流域の銅鐸の特徴―矢野銅鐸と名東銅鐸の違いを中心に―

徳島市国府中学校
楠上 陸翔、藤田 裕次郎、高原 隆希、髙木 将

■研究の概要

鮎喰川流域の国府町から出土した矢野銅鐸と、同じ鮎喰川流域の名東町で出土した名東銅鐸との違いを知りたいと考えた。そこで、徳島県立博物館などの施設を訪れ、矢野銅鐸や名東銅鐸を観察して両者の違いを考察したほか、徳島県内における銅鐸の出土状況を調べることで、次のことが分かった。

大型で渦巻文の飾耳を持つ矢野銅鐸は見ることに重きを置いたものだったのに対し、小型でより扁平な形をした名東銅鐸は音を鳴らすことを目的とするものだったと考えた。また、徳島県で出土した43個の銅鐸の内、16個は鮎喰川流域から出土している。鮎喰川流域で多くの銅鐸が出土しているのは、この地域で生産されていた鉄器などを、他地域で生産された銅鐸と交換していたためではないかと思われる。

■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

鮎喰川流域（徳島市）、矢野銅鐸、名東銅鐸

■利用した博物館・資料館等

徳島県立博物館、徳島県立埋蔵文化財総合センター、
徳島市立考古資料館

高校生の部

鳥居龍蔵の台湾調査とフィールドノート研究―ガラス乾板写真と顔認証技術への示唆―

徳島県立富岡西高等学校
溝口 木乃香、片山 果音

■研究の概要

スーパー・サイエンス・ハイスクールの一環である台湾研修で、国立台湾史前文化博物館南科考古館を訪問するに先立ち、鳥居の調査手法とフィールドノートについて研究しようと考えた。そこで、鳥居の調査手法と現代の顔認証技術との関係性を中心に考察し、次のことが分かった。

鳥居は写真撮影とフィールドノートの作成を併用することで、それぞれの手法の短所を補い、詳細な学術資料を残した。また、人体計測の結果を記した記録表と、記録写真とを組み合わせることで、精度の高い民族分類を行うことができたと考えられる。人体計測の結果に基づく分類手法と、現代の顔認証技術とを比較すると、数値化されたデータを分類・識別に活用する点で類似していると思われた。

■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

国立台湾史前文化博物館 南科考古館及び周辺地域

■利用した博物館・資料館等

国立台湾史前文化博物館 南科考古館

峰八古墳群　新資料報告とその位置付け

徳島県立脇町高等学校
園田 映音

■研究の概要

吉野川市にある峰八古墳群を踏査した際、これまで確認されていなかった新たな古墳を発見し、その考古学的な位置付けを試みようと考えた。そこで、峰八古墳群がある山域を踏査し、古墳の規模の測量を行い、それによって得られたデータに基づく他の古墳との比較を行うことで、次のことが分かった。

従来、峰八古墳群は２基程度が確認されていたが、標高130 ～ 180m の地点に計７基の古墳が残っていることが分かった。また、各古墳の石室等に関するデータから、これらの古墳は６世紀末にかけて造られたと考えられるほか、石室が長胴化する過程を連続して確認できる。これらのことから峰八古墳群は、古墳時代後期における古墳の石室等の変遷を考える上で、重要な遺跡であると考えられる。

■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

峰八古墳群（吉野川市）

■利用した博物館・資料館等

徳島県立埋蔵文化財総合センター

徳島市にあったドイツ兵捕虜収容所について

徳島県立城北高等学校
梅田 夏姫、待田 夏帆

■研究の概要

本校はドイツの学校と姉妹校協定を結んでいることから、徳島とドイツのつながりについて学び、その成果を発表しようと考えた。そこで、第一次世界大戦期の徳島におけるドイツ人捕虜の活動を市民向け講座で学んだほか、鳴門市で文化交流事業に携わるドイツ出身の方にインタビューし、次のことが分かった。

第一次世界大戦期に徳島に来たドイツ兵捕虜たちは、徳島市に設けられた徳島俘虜収容所で２年３ヵ月暮らした後、鳴門市に新設された板東俘虜収容所へ移った。徳島俘虜収容所と板東俘虜収容所の所長であった松江豊寿は、捕虜に対して人道的配慮をしたため、捕虜たちは各種の文化活動を行うことができた。捕虜への人道的配慮で知られる板東俘虜収容所の原型は、徳島俘虜収容所にあったといえる。こうした歴史は、現在の日本における外国人との共生を考える上で、ヒントになると考えられる。

■研究対象とした地域・遺跡・文化財等

板東俘虜収容所跡、鳴門市ドイツ館周辺地域（以上、鳴門市）
徳島俘虜収容所跡、徳島県庁周辺地域（以上、徳島市）

■利用した博物館・資料館等

鳴門市ドイツ館

審　査　結　果

■中学生の部■

【優秀賞】

「鮎喰川流域の銅鐸の特徴―矢野銅鐸と名東銅鐸の違いを中心に―」

徳島市国府中学校　楠上 陸翔、藤田 裕次郎、高原 隆希、髙木 将

【奨励賞】

「徳島・松山大空襲について」

徳島市国府中学校　沖原 柊

「高地蔵に詰まる歴史」

徳島市国府中学校　小岡 凌央、松本 萌愛、藤田 愛加

■高校生の部■

【優秀賞】

「峰八古墳群　新資料報告とその位置付け」

徳島県立脇町高等学校　園田 映音

【奨励賞】

「鳥居龍蔵の台湾調査とフィールドノート研究―ガラス乾板写真と顔認証技術への示唆―」

徳島県立富岡西高等学校　溝口 木乃香、片山 果音

「徳島市にあったドイツ兵捕虜収容所について」

徳島県立城北高等学校　梅田 夏姫、待田 夏帆

審　査　委　員

桑原 恵氏（徳島大学名誉教授）、佐藤 正志氏（摂南大学名誉教授）、山口 雄治氏（徳島大学准教授）

徳島歴史文化フォーラム 10回目の公募

中高生の研究発表の場に

鳥居龍蔵に続く人材育成を

徳島県内の中学・高校生が地域の歴史や文化について研究発表する「鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム」。国内外で精力的にフィールドワークを行った徳島市出身の人類学者鳥居龍蔵に続く人材を育てようと、2016年度に創設された。主催する県立鳥居龍蔵記念博物館と県立博物館が、本年度で10回目となるフォーラムでの自主研究を募っている。

フォーラムは鳥居の顕彰と人材育成の目的のほか、県内の高校生にとって歴史・文化関係の研究発表の場がほぼなかったことから創設された。

過去9回の応募状況は、創設初年度が10点(中学生3点、高校生7点)で、その後は18年度の14点(中学生、高校生各7点)をピークに減少傾向にある。高校生は22、23年度各3点、24年度2点と低迷している。受験勉強や部活動で忙しいことなどが影響しているという。

対象となる研究テーマは▽特定の地域(徳島県内に限定しない)の歴史や文化に関すること▽鳥居龍蔵に関連すること―の2種類ある。これまで応募があったのは「参勤交代から見た徳島藩の姿」「蜂須賀家墓所の特徴」「知らなかった僕のご先祖様」「阿波国にやってきた英国公使ハリー・パークス」など。

22年度に県立城ノ内中等教育学校の生徒2人が手がけた「小鳴門海峡の渡船」は、全国の高校を対象にした「鳥居龍蔵記念 全国高校生歴史文化フォーラム」で最優秀賞に選ばれた。

本年度の応募は11月14日締め切り。書類審査を経て26年2月14日に「文化の森イベントホール」(徳島市八万町)で開かれるフォーラムで発表し、優秀賞と奨励賞を決める。高校生の部の優秀賞受賞者は、翌日開催予定の全国フォーラムで発表する。問い合わせは県立鳥居龍蔵記念博物館、電話088(668)2544。

(久保高茂)

「鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム」高校生の部で発表する松本雄介さん(当時未来高2年)
=2024年2月、徳島市の文化の森イベントホール

「鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム」が紹介された『徳島新聞』2025年10月14日掲載の記事
(徳島新聞社提供、コピー、転載禁止)

記事中の松本さんは、2023年度のフォーラムで優秀賞を受賞し、「鳥居龍蔵記念 全国高校生歴史文化フォーラム」に出場してもらいました。

鳥居龍蔵記念　徳島歴史文化フォーラム　受賞作品一覧（中学生の部・高校生の部）

　このフォーラムを創設した2016年度から2025年度までの受賞作品をまとめました。
※個人参加の場合がありますが、所属のみを記載しました。

中　学　生　の　部

2016年度

部門	学校	題目	結果
地域研究	徳島県立城ノ内中学校	参勤交代から見た徳島藩の姿	優秀賞
地域研究	勝浦町立勝浦中学校	勝浦町における町おこし政策について	奨励賞
地域研究	徳島市川内中学校	阿波人形浄瑠璃と私	特別賞

2017年度

地域研究	鳴門教育大学附属中学校	私のおばあちゃんの歴史	優秀賞
地域研究	徳島市徳島中学校	日本最古の「朱」採掘場所　徳島	奨励賞
地域研究	徳島県立城ノ内中学校	阿波藩蜂須賀家参勤交代の歴史について	奨励賞
地域研究	徳島市津田中学校	津田に残る狸の影響	奨励賞
地域研究	鳴門教育大学附属中学校	邪馬臺国（ヤマトコク）のはじまりは阿波からか?!―諸説ある中の私的一考察―	奨励賞

2018年度

地域研究	鳴門教育大学附属中学校	2000年前の製鉄工場―阿南市加茂宮ノ前遺跡の鍛冶工房―	優秀賞
地域研究	徳島文理中学校	北井上地区の高地蔵	優秀賞
地域研究	鳴門教育大学附属中学校	渋野丸山古墳について	優秀賞
地域研究	小松島市立小松島南中学校	天橋立周辺の歴史的建造物について	奨励賞
地域研究	鳴門教育大学附属中学校	遍路でつなげよう―四国と世界―	奨励賞
地域研究	上板町立上板中学校	瑞巌寺	奨励賞
地域研究	徳島市八万中学校	徳島のキリシタン遺構について	奨励賞

2019年度

地域研究	鳴門教育大学附属中学校	受け継がれてきた文化と思い―四国遍路―	優秀賞
地域研究	徳島文理中学校	海部郡における津波の記録―津波記念碑と高地蔵などの調査―	優秀賞
地域研究	鳴門教育大学附属中学校	震災の歴史を振り返り、教訓とするために	奨励賞
地域研究	海陽町立海陽中学校	日本三祇園の１つと伝わる宍喰八坂神社の謎に迫る！―海洋民族の痕跡編―	奨励賞
地域研究	鳴門教育大学附属中学校	知らなかった僕のご先祖様	奨励賞

2020年度

地域研究	鳴門教育大学附属中学校	僕が見つけた「石器」の謎に迫る―出土した「石」が「石器」である可能性を探る―	優秀賞
地域研究	海陽町立海陽中学校	日本三祇園の１つと伝わる宍喰八坂神社の謎に迫る！―真夏のひな祭り編―	奨励賞
地域研究	鳴門教育大学附属中学校	アイヌについての一考察	奨励賞

2021年度

地域研究	鳴門教育大学附属中学校	遺跡発掘を体験して	優秀賞
地域研究	徳島県立城ノ内中等教育学校	広島県呉市の海軍、海上自衛隊の歴史	奨励賞
地域研究	鳴門教育大学附属中学校	室町から安土桃山時代の阿波国（徳島県）支配の移り変わり	奨励賞

2022年度

地域研究	鳴門教育大学附属中学校	徳島の横穴式石室と近畿地方の横穴式石室の比較	優秀賞
地域研究	海陽町立海陽中学校	過去の記録から学ぶ―南海トラフ巨大地震に備えて―	優秀賞
地域研究	鳴門教育大学附属中学校	南海地震と敬渝碑―先人が託した思いと私達の未来―	奨励賞
地域研究	鳴門教育大学附属中学校	私の先祖の謎に迫る！	奨励賞

2023年度

地域研究	鳴門教育大学附属中学校	地名から読み解くマイルーツ探訪―牛島八幡神社とわたし―	優秀賞
地域研究	鳴門教育大学附属中学校	洪水から命を守れ！！これぞ究極の洪水対策　国指定重要文化財・日本遺産 ―田中家住宅―	優秀賞
地域研究	鳴門教育大学附属中学校	ラジオ塔を知る	奨励賞

2024年度

地域研究	鳴門教育大学附属中学校	井戸の歴史と蔵珠院まいこみ泉	優秀賞
地域研究	徳島県立城ノ内中等教育学校	松江豊寿の軌跡を追って―偉人から学ぶ惻隠の情―	優秀賞
地域研究	徳島県立城ノ内中等教育学校	阿波三盆糖の歴史	奨励賞
地域研究	徳島県立城ノ内中等教育学校	1300年前の古代碑「阿波国造墓碑」を読み解く	奨励賞
地域研究	徳島県立城ノ内中等教育学校	近代日本経済の父渋沢栄一について	奨励賞
地域研究	鳴門教育大学附属中学校	渋野丸山古墳について	奨励賞
地域研究	徳島県立城ノ内中等教育学校	阿波の文化遺産「藍染」について	奨励賞
地域研究	鳴門教育大学附属中学校	土御門天皇と阿波	奨励賞

2025年度

地域研究	徳島市国府中学校	鮎喰川流域の銅鐸の特徴―矢野銅鐸と名東銅鐸の違いを中心に―	優秀賞
地域研究	徳島市国府中学校	徳島・松山大空襲について	奨励賞
地域研究	徳島市国府中学校	高地蔵に詰まる歴史	奨励賞

高　校　生　の　部

2016年度

部門	学校・団体	題目	結果
鳥居龍蔵研究	徳島市立高等学校　歴史研究部	鳥居龍蔵の功績と影響	優秀賞
地域研究	徳島県立小松島高等学校　小松島歴史クラブ	藍商港―人と藍が作った港町小松島―	優秀賞
地域研究	徳島文理高等学校　郷土研究部	吉野川下流域の高地蔵は語る	優秀賞
鳥居龍蔵研究	徳島文理高等学校　郷土研究部	鳥居龍蔵の調査を検証する	奨励賞
地域研究	徳島文理高等学校　郷土研究部	阿波国における名号板碑と一遍上人	奨励賞
地域研究	徳島県立阿南工業高等学校	私たちの学校に眠る古代の寺院―白鳳期の阿南を考えるー	奨励賞
地域研究	徳島県立池田高等学校　探求科歴史研究班	近現代における徳島の蚕糸業―徳島県はなぜ西日本有数の養蚕県になり得たのか―	特別賞

2017年度

地域研究	徳島県立脇町高等学校	段ノ塚穴型石室における結晶片岩の使用に関する考察	優秀賞
地域研究	徳島市立高等学校　歴史研究部	日和佐八幡神社秋祭と「海の道」	優秀賞
地域研究	徳島県立城南高等学校	八幡神社で行われていた神事―競馬について―	優秀賞
地域研究	徳島文理高等学校　郷土研究部	蜂須賀家墓所の特徴	奨励賞
地域研究	徳島県立鳴門渦潮高等学校	「産業社会と人間」で取り組む地域学―大麻比古神社について―	奨励賞
鳥居龍蔵研究	徳島文理高等学校　郷土研究部	鳥居龍蔵が収集した南米土器を探る―３Ｄプリンターの活用事例―	奨励賞
鳥居龍蔵研究	徳島市立高等学校　歴史研究部	鳥居龍蔵と日本人論―人類学と科学について―	奨励賞

2018年度

地域研究	徳島市立高等学校　歴史研究部	徳島から戦争を考える	最優秀賞
地域研究	徳島県立城北高等学校	旧遍路道の石造物について	優秀賞
地域研究	徳島県立川島高等学校	江戸時代の洪水対策―石井町を中心に―	優秀賞
地域研究	徳島県立小松島高等学校　小松島歴史クラブ	藍と木綿の伝統への回帰―地域創生に向けての課題―	優秀賞
地域研究	徳島県立川島高等学校	第九とアジアと収容所	奨励賞
地域研究	徳島県立徳島北高等学校	奥之院から見る旧遍路道のあり方	奨励賞
地域研究	徳島県立川島高等学校	私が思う最も美しい町―うだつの町並み―	奨励賞

2019年度

地域研究	徳島県立小松島高等学校	徳島藩における阿波水軍「森家」の役割	最優秀賞
地域研究	徳島県立城東高等学校	方言と共に受け継がれる神山の食文化	優秀賞
地域研究	徳島県立城東高等学校	戦後74年の記憶―今、僕たちが知るべきこと―	優秀賞
地域研究	徳島県立城南高等学校	徳島城の特徴	奨励賞
地域研究	徳島県立鳴門渦潮高等学校	鳴門の歴史について―塩田にスポットをあてて―	奨励賞

2020年度

地域研究	徳島県立城東高等学校	なぜ、徳島女師高女の修学旅行は大陸に渡ったのか―修学旅行資料から見た大陸へのまなざし―	優秀賞
地域研究	徳島県立小松島高等学校　小松島歴史クラブ	阿波国にやってきた英国公使ハリー・パークス	優秀賞
地域研究	徳島生涯教育研究会	そごう閉店から徳島を考える―コロナ禍で可能な研究を目指して―	奨励賞
地域研究	徳島文理高等学校　郷土研究部	徳島県の高地蔵の研究―新たな発見―	奨励賞
地域研究	徳島県立鳴門渦潮高等学校	戦国期における木津城の役割	奨励賞

2021年度

地域研究	徳島県立城東高等学校	身近に見るスペイン風邪―コロナ禍の今だからこそわかること―	優秀賞
地域研究	徳島県立城ノ内高等学校	「御国産名物見立相撲」掲載の名産品「佐古㊦金平糖」から垣間見える幕末・明治の徳島の市民生活	優秀賞
地域研究	徳島県立徳島科学技術高等学校	南蔵本遺跡	奨励賞
地域研究	徳島県立小松島高等学校　小松島歴史クラブ	遺跡・地形から見る小松島の古代の姿	奨励賞
地域研究	徳島生涯教育研究会	そごう閉店から徳島を考えるⅡ―コロナ禍で可能な研究を目指して―	奨励賞
地域研究	徳島県立城北高等学校	徳島の〔銅鐸〕の出土地とその地形の関係性について	奨励賞

2022年度

地域研究	徳島県立城ノ内中等教育学校	小鳴門海峡の渡船	優秀賞
地域研究	徳島県立海部高等学校	日本三祇園の１つと伝わる宍喰八坂神社の謎に迫る！―空白の70年間編―	奨励賞
地域研究	徳島県立城北高等学校	徳島城について	奨励賞

2023年度

地域研究	未来高等学校	有事の日本で活躍した曾祖父の生涯をたどる	優秀賞
地域研究	徳島県立城南高等学校	八万の今昔　洪水と人々の暮らし―フィールドワークで得たもの―	奨励賞
地域研究	徳島県立富岡東高等学校	牛岐城と城主新開氏・その周辺の歴史について	奨励賞

2024年度

地域研究	徳島県立脇町高等学校	土成丸山古墳表採埴輪の検討	優秀賞
地域研究	徳島県立城北高等学校	蜂須賀家万年山墓所　清掃活動をとおして	奨励賞

2025年度

地域研究	徳島県立脇町高等学校	峰八古墳群 新資料報告とその位置付け	優秀賞
鳥居龍蔵研究	徳島県立富岡西高等学校	鳥居龍蔵の台湾調査とフィールドノート研究―ガラス乾板写真と顔認証技術への示唆―	奨励賞
地域研究	徳島県立城北高等学校	徳島市にあったドイツ兵捕虜収容所について	奨励賞

※2020年度から、高校生の部で優秀賞を受賞した作品については、「鳥居龍蔵記念　全国高校生歴史文化フォーラム」のフォーラム（発表会）で口頭発表を行っています。

鳥居龍蔵記念　全国高校生歴史文化フォーラム

全国の高校生（徳島県内在住者は除く）から歴史・文化に関する自主研究を募集して一次審査を行い、優秀な研究を表彰しました。

さらに、一次審査の上位５組と「徳島歴史文化フォーラム（高校生の部）」の優秀賞受賞者１組に、口頭発表を行ってもらい、最優秀者を選考し、表彰しました。

フォーラム（発表会）

日時：2026年２月15日（日）11:00～15:05

会場：文化の森イベントホール

題目・報告者（報告順）

研究報告１　**「御霊神社と権現講」**

神奈川県立足柄高等学校　歴史研究部　　矢野 蒼依

研究報告２　**「飛行場建設が変えたこと―栃木県の戦争の記録をたどる―」**

栃木県立矢板東高等学校　リベラルアーツ同好会

手塚 寛乃、東泉 伊恭、安藤 慶人、吹上 心海、八木澤 陵介

研究報告３　**「壱岐中世史解明の新視点―誰が生池城を改修したか―」**

長崎県立壱岐高等学校　東アジア歴史・中国語コース　歴史学専攻　宮野 幸一

研究報告４　**「熊澤家と戦争資料」**

神奈川県立足柄高等学校　歴史研究部　安原 颯介、稲葉 匠吾

研究報告５　**「日系アルゼンチン人から考える多文化共生のかたち**

―湘南台の日系アルゼンチンコミュニティは、今―」

栃木県立矢板東高等学校　リベラルアーツ同好会 チーム在　後藤 葵、礒 菜々子

研究報告６　**「峰八古墳群　新資料報告とその位置付け」**

徳島県立脇町高等学校　園田 映音

審　査　結　果

【最優秀賞】

「飛行場建設が変えたこと―栃木県の戦争の記録をたどる―」

栃木県立矢板東高等学校　リベラルアーツ同好会

手塚 寛乃、東泉 伊恭、安藤 慶人、吹上 心海、八木澤 陵介

「峰八古墳群　新資料報告とその位置付け」

徳島県立脇町高等学校　園田 映音

【優秀賞】

「御霊神社と権現講」

神奈川県立足柄高等学校　歴史研究部　　矢野 蒼依

「**壱岐中世史解明の新視点―誰が生池城を改修したか―**」

長崎県立壱岐高等学校　東アジア歴史・中国語コース　歴史学専攻　宮野 幸一

「**熊澤家と戦争資料**」

神奈川県立足柄高等学校　歴史研究部　安原 颯介、稲葉 匠吾

「**日系アルゼンチン人から考える多文化共生のかたち**
―湘南台の日系アルゼンチンコミュニティは、今―」

栃木県立矢板東高等学校　リベラルアーツ同好会 チーム在　後藤 葵、礒 菜々子

【入　賞】

「**衛門三郎と河野教通―四国遍路（伊予）を作った戦国大名―**」

愛媛県立松山北高等学校　郷土研究部

森貞 裕太郎、松本 知隼、對馬 小花、谷口 凱星、山住 悠理、安部 大晟

「**家の前に自分の名前の文化財がある件について―瀧澤家の殖産興業の現在地**」

栃木県立矢板東高等学校　リベラルアーツ同好会　チーム瀧　瀧澤 帆影

「**近世初期における塩飽人名制と年寄宮本家**」

早稲田大学高等学院　新藤 亘琉

【佳　作】

「**西条市長十河信二について　謎に包まれた市長時代**」

愛媛県立西条高等学校　地域・歴史研究部

黒川 泰輝、長曽 斗海、中濱 和大、佐伯 紫月、塩出 養征、野本 遼介

「**受け継ぐ賢人の生気―「有法子」の歴史と後代への願い―**」

愛媛県立西条高等学校　地域・歴史研究部　藤田 莉子、梅本 晶、馬越 結衣那、木原 咲希

「**西条産業の礎　名水「うちぬき」―霊峰から流れる地下水の恵み―**」

愛媛県立西条高等学校　地域・歴史研究部　松本 晃良、菅 悠介、石水 聖也、越智 雅友、星加 瑛太

「**秋田の礎―安東氏の軌跡に迫る―**」

秋田県立秋田北高等学校　歴史研究部　和田 蒼生、木山 恵、佐々木 真也子

「**神奈川県西部の狼信仰**」

神奈川県立足柄高等学校　歴史研究部　吉田 之仁

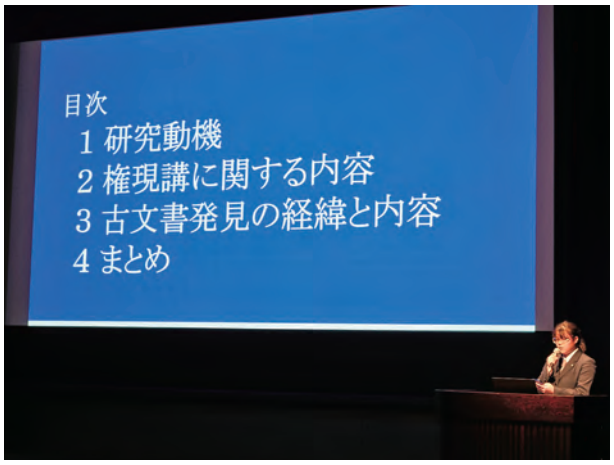
「**越美山系の徳山、根尾を越えて**」

鷲谷高等学校　社会研究サークル　吉村 ここね

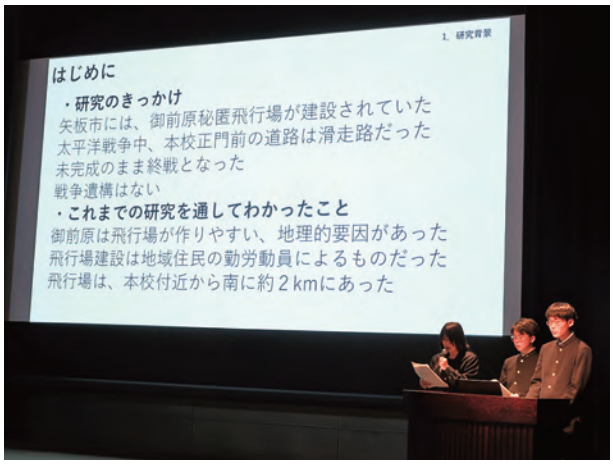
審　査　委　員

桑原 恵氏（徳島大学名誉教授）、佐藤 正志氏（摂南大学名誉教授）、山口 雄治氏（徳島大学准教授）

全国高校生歴史文化フォーラムの様子

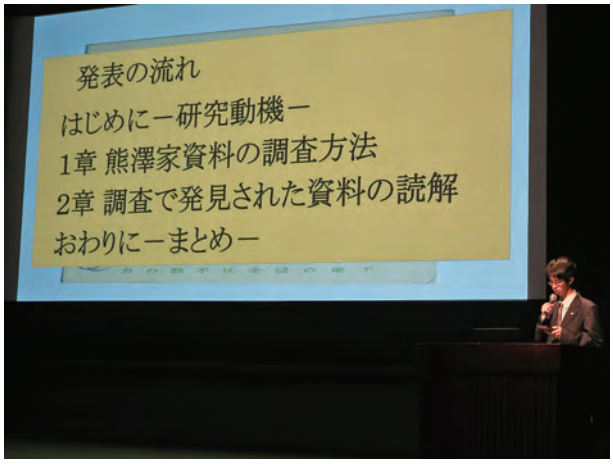


研究報告１　「御霊神社と権現講」

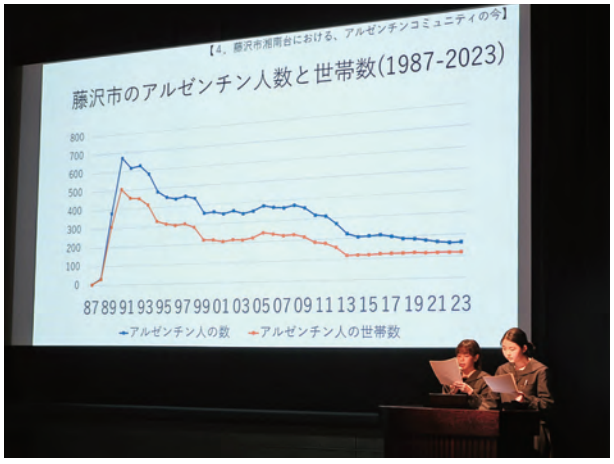


研究報告２　「飛行場建設が変えたこと―栃木県の戦争の記録をたどる―」

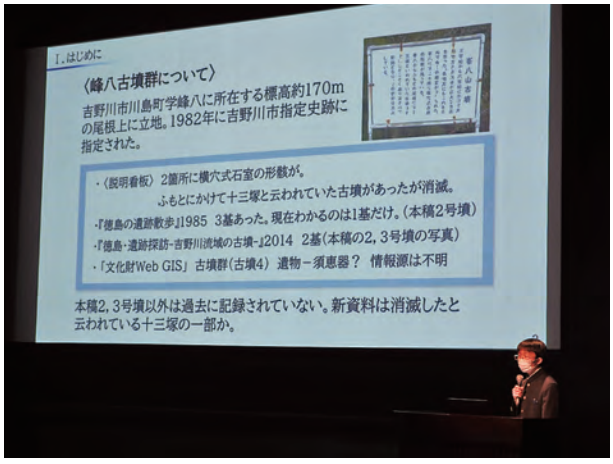
研究報告３　「壱岐中世史解明の新視点―誰が生池城を改修したか―」



研究報告４　「熊澤家と戦争資料」



研究報告５　「日系アルゼンチン人から考える多文化共生のかたち―湘南台の日系アルゼンチンコミュニティは、今―」



研究報告６　「峰八古墳群　新資料報告とその位置付け」

鳥居龍蔵記念　全国高校生歴史文化フォーラム　受賞作品一覧

このフォーラムを創設した2020年度から2025年度までの受賞作品をまとめました。
※個人参加の場合がありますが、所属のみを記載しました。

2020年度

学校・団体	題目	結果
長崎県立上対馬高等学校	対馬黒曜石の調査・分析による産地推定―対馬の原始・古代の交易を知る―	最優秀賞
茨城県立古河中等教育学校	下妻藩における参勤交代について	優秀賞
栃木県立石橋高等学校　歴史研究部 C 班	石橋宿と馬市―明治から始まる町おこし―	優秀賞
栃木県立石橋高等学校　歴史研究部 A 班	下野市の江戸時代と物流―吉田河岸が繋ぐ東日本の物流―	入賞
伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	古代上毛野国の繁栄とその要因―陸及び河川の交通路に着目して―	入賞
岐阜県立関高等学校　地域研究部	明智光秀の謎の前半生を追う　史料とフィールドワークからの検証	入賞
静岡学園高等学校　歴史研究部	家康を怯れさせた両河内―武田遺臣団　遺された背後の刃―	入賞
静岡県立韮山高等学校　文系探求コース 歴史班	韮山代官江川坦庵の功績と評価について	入賞
静岡県立韮山高等学校　文系探求コース 物語研究班	蛇・妖怪から見る伊豆の人々の精神構造	入賞
岐阜県立関高等学校　地域研究部	「織田信長の東美濃攻略戦」とまちづくり	佳作
鶯谷高等学校	国史跡　岐阜城の新しい発見	佳作
鶯谷高等学校	駅の裏にひっそりと佇むねずみ小僧次郎吉の碑	佳作
鶯谷高等学校	関ケ原町の観光業	佳作
福岡県立修猷館高等学校	福岡城	佳作
福岡県立宗像高等学校　歴史研究会	織幡神社の起源について―織工女の伝説と縫殿神社―	佳作
長崎県立壱岐高等学校　東アジア歴史・中国語コース　歴史学専攻	定光寺前遺跡出土の貿易陶磁器からみた中世壱岐の研究	佳作
鹿児島県立鶴翔高等学校　地域文化研究同好会	「七のまち阿久根」の研究―三国名勝図会から―	佳作
栃木県立石橋高等学校　歴史研究部 B 班	戦時下の栃木県における朝鮮人差別	奨励賞
鶯谷高等学校	岐阜えだまめ	奨励賞

2021年度

岐阜県立関高等学校　地域研究部	関飛行場及びその関連施設の調査　陸軍秘匿飛行場の作戦構想とその実態	最優秀賞
山口県立柳井高等学校	隠された Trajectory―SDGs から考える過去と未来―	優秀賞
栃木県立石橋高等学校　歴史研究部（チーム石）	江戸時代の薬師寺―下野領に根付く秋田藩佐竹氏の存在―	優秀賞
鳥取県立八頭高等学校　亀の会	鳥取池田家の家老墓について	優秀賞
愛媛県立西条高等学校　地歴公民 A 3班	100年前から学ぶ―愛媛県におけるスペイン・インフルエンザの流行について―	入賞
愛媛県立松山北高等学校　郷土研究部	伊予の国小野谷に残る小野小町伝承の謎を解く	入賞
早稲田大学高等学院	秋山郷における秘境イメージの妥当性	入賞
愛媛県立松山西中等教育学校	五輪塔から始まる中世久万ノ台の歴史	入賞
栃木県立石橋高等学校　歴史研究部（チーム丸）	江戸時代の薬品―金匱救命丸の発展と一橋家との関わり―	入賞
岐阜県立関高等学校　地域研究部	ウミウと鵜匠の関わりからみた鵜飼漁法―岐阜県関市小瀬鵜飼のフィールドワークから―	入賞
静岡県立韮山高等学校	北条義時　執権への過程	佳作
大東文化大学第一高等学校　地理歴史研究部	昭和16年の東京オリンピックに代わる水泳記録会の謎	佳作
学校法人石川高等学校　考古学部	不説斎の謎と白川氏300年の居城白川城―謎多き白川氏の正体に迫る―	佳作
鹿児島県立大口高等学校	太良城にまつわる歴史	佳作
山口県立柳井高等学校	周防大島町の架け橋―ハワイ移民を通して―	佳作
鶯谷高等学校　地歴サークル部	戦国城下町・岐阜を歩く	佳作
岐阜県立関高等学校　地域研究部	歴史ツアー「夕雲の城」構想の実現に向けて	佳作

2022年度

神奈川県立足柄高等学校　歴史研究部	日記から解き明かす関東大震災と地域の人びと	最優秀賞
徳島県立城ノ内中等教育学校	小鳴門海峡の渡船	最優秀賞
岐阜県立関高等学校　地域研究部・文芸部	「月岡野の戦い」の検証と創作活動への応用に関する試論	優秀賞
岐阜県立関高等学校　地域研究部	岐阜県山間地に残るトチノミ食	優秀賞
鳥取県立青谷高等学校　青谷学 II（文学歴史コース）	青谷上寺地遺跡出土人骨の考察―殺傷痕のある少女人骨の問いかけるもの―	優秀賞
愛媛県立西条高等学校　地域・歴史研究部	第二次世界大戦前後の西条祭りについて―コロナ禍から考える―	入賞
愛媛県立松山北高等学校　郷土研究部	伊予の国小野谷に残る小野小町伝承の謎を解く2	入賞
学校法人石川高等学校　考古学部	白川義親の下剋上・天正の変の事実に迫る―義親と周辺人物の動向から―	入賞
長崎県立壱岐高等学校　東アジア歴史・中国語コース　歴史学専攻	「神宿る島」壱岐の信仰について―歴史的変遷と特異性―	入賞
栃木県立矢板東高等学校　リベラルアーツ同好会	栃木県北部の養蚕に関する一考察	入賞

栃木県立石橋高等学校　歴史研究部	下野国の薬種事情	入賞
大東文化大学第一高等学校　地理歴史研究部	本校卒業生、登山家加藤保男とその時代 ヒマラヤへの挑戦が国家の力を示すと考えられた時代	佳作
静岡県立韮山高等学校	静岡県における修身科教育	佳作
静岡県立韮山高等学校	北条義時一執権になってからの功績について一	佳作
愛媛県立松山西中等教育学校	三津の渡し船一今も残り続ける理由とは一	佳作
鹿児島県立大口高等学校	新納忠元と大口一忠元はなぜ今でも慕われているのか一	佳作

2023年度

栃木県立矢板東高等学校　リベラルアーツ同好会	矢板宿の今昔一現代に残る屋号一	最優秀賞
愛媛県立松山北高等学校　郷土研究部	伊予の国小野谷に残る小野小町伝承の謎を解く 3	優秀賞
岐阜県立関高等学校　地域研究部	地下軍需工場建設と本土決戦準備一東海軍管区の本土決戦構想を探る一	優秀賞
長崎県立壱岐高等学校　東アジア歴史・中国語コース　歴史学専攻	壱岐勝本城跡の本丸虎口に関する研究	優秀賞
愛媛県立西条高等学校　地域・歴史研究部	西条の名物「蚊」の謎一大正期の記述から一	入賞
岐阜県立関高等学校　鳥類研究班	長良川水系におけるマガモの無双網猟に関する研究一猟師足立公成さんに学ぶ一	入賞
岐阜県立関高等学校　地域研究部	「東美濃三カ所城」をめぐって一山城と古文書から考える中濃の戦国史一	入賞
栃木県立石橋高等学校　歴史研究部　児山城研究班	児山城の謎を追う一堀と土塁の形と広がり一	入賞
栃木県立矢板東高等学校　リベラルアーツ同好会　歴史研究班	戦時中の矢板市の様相一御前原秘匿飛行場と女性の勤労動員一	入賞
鶯谷高等学校　社会研究サークル	開かれる越美国境	佳作
秋田県立秋田北高等学校　歴史研究部	坂上田村麻呂による蝦夷政策	佳作
長崎県立長崎東高等学校　郷土研究部	日本を愛したドイツ人一シーボルトはなぜその半生を『日本』に捧げたのか一	佳作

2024年度

早稲田大学高等学院	近代日本の国防政策における「重要地域としての対馬」認識の形成過程	最優秀賞
神奈川県立足柄高等学校　歴史研究部	戦時下の神奈川第一抑留所と北足柄一日記から読み解く抑留所の実態一	優秀賞
栃木県立矢板東高等学校　リベラルアーツ同好会　チーム碑	その時、私たちの街では一都市公園の石碑から探る日清戦争・日露戦争時の矢板一	優秀賞
栃木県立矢板東高等学校　リベラルアーツ同好会　チーム煙	JT（日本たばこ産業）跡地から探る矢板のたばこ産業	優秀賞
長崎県立壱岐高等学校　東アジア歴史・中国語コース　歴史学専攻	興原古墳石材運搬の研究一古墳時代社会への道しるべ一	優秀賞
岐阜県立関高等学校　地域研究部	東美濃の戦国史と国衆の動向	入賞
愛媛県立松山北高等学校　郷土研究部	松山平野南部に伝わる伝承の謎を解く	入賞
神奈川県立足柄高等学校　歴史研究部	国際電気通信足柄送信所とその役割	入賞
長野県松本県ケ丘高等学校	地域の戦争の記録を未来へ一松本市戦時中写真カラー化プロジェクトー	入賞
愛媛県立松山西中等教育学校	三津刈屋畑の戦いと地域の人々の意識	入賞
日本航空高等学校　通信制	北条義時	佳作
鳥取県立青谷高等学校　弥生文化探求・青谷学Ⅱ（文学歴史コース）	青谷上寺地遺跡水田復元の試み（Ⅱ）一弥生時代水田の原風景を求めて一	佳作
愛媛県立西条高等学校　地域・歴史研究部	歌が紡ぐ関行男と当時の背景一「関中佐功績顕彰歌」を中心に一	佳作
神奈川県立足柄高等学校　歴史研究部	大雄山鉄道の歴史	佳作
秋田県立秋田北高等学校　歴史研究部	動乱の時代を乗り越えた秋田の戦国武将一愛季・実季の政策一	佳作

2025年度

栃木県立矢板東高等学校　リベラルアーツ同好会	飛行場建設が変えたこと一栃木県の戦争の記録をたどる一	最優秀賞
徳島県立脇町高等学校	峰八古墳群　新資料報告とその位置付け	最優秀賞
神奈川県立足柄高等学校　歴史研究部	御霊神社と権現講	優秀賞
長崎県立壱岐高等学校　東アジア歴史・中国語コース　歴史学専攻	壱岐中世史解明の新視点一誰が生池城を改修したか一	優秀賞
神奈川県立足柄高等学校　歴史研究部	熊澤家と戦争資料	優秀賞
栃木県立矢板東高等学校　リベラルアーツ同好会　チーム在	日系アルゼンチン人から考える多文化共生のかたち一湘南台の日系アルゼンチンコミュニティは、今一	優秀賞
愛媛県立松山北高等学校　郷土研究部	衛門三郎と河野教通一四国遍路（伊予）を作った戦国大名一	入賞
栃木県立矢板東高等学校　リベラルアーツ同好会　チーム瀧	家の前に自分の名前の文化財がある件について一瀧澤家の殖産興業の現在地一	入賞
早稲田大学高等学院	近世初期における塩飽人名制と年寄宮本家	入賞
愛媛県立西条高等学校　地域・歴史研究部	西条市長十河信二について　謎に包まれた市長時代	佳作
愛媛県立西条高等学校　地域・歴史研究部	受け継ぐ賢人の生気一「有法子」の歴史と後代への願い一	佳作
愛媛県立西条高等学校　地域・歴史研究部	西条産業の礎　名水「うちぬき」一霊峰から流れる地下水の恵み一	佳作
秋田県立秋田北高等学校　歴史研究部	秋田の礎一安東氏の軌跡に迫る一	佳作
神奈川県立足柄高等学校　歴史研究部	神奈川県西部の狼信仰	佳作
鶯谷高等学校　社会研究サークル	越美山系の徳山、根尾を越えて	佳作

歴史のドアを開けよう！　徳島から世界への挑戦！

2025 年度
鳥居龍蔵記念　徳島歴史文化フォーラム 報告書

2026 年 7 月 10 日　発行
編集・発行：徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
〒770-8070　徳島市八万町向寺山（文化の森総合公園内）
TEL.088-668-2544　FAX.088-668-7197
ホームページ　https://torii-museum.bunmori.tokushima.jp
印　　刷：グランド印刷株式会社